

事例1

Aさんは、待ち合わせをするといつも10分ぐらい遅れてきます。仲良しグループで映画を観に行く時、Aさんが遅れたため予定の電車に乗れず、映画館への到着が開演ぎりぎりとなってしまいました。

度重なる遅刻に、さすがに仲良しのBさん、Cさんも腹を立て、Aさんへの不満をクラスの子たちに聞いてもらったところ、そのことをきっかけに、Aさんは、クラスの子たちから冷たく当たられるようになりました。さらにBさん、Cさんは、Aさんを遊びに誘わなくなり、Aさんを無視するようになりました。

<これまでの背景>

Aさんは、待ち合わせ時間に遅れることはいつも謝りますが、結局イベント等には間に合うので、内心では遅刻をそれほど気にしておらず、同じことを繰り返しています。

Bさん、Cさんは、映画館の件では腹を立てましたが、間に合った後は仲良く過ごしたので、Aさんにはあらためて不満などは伝えていません。

みんなで考えよう!

私たちは、いじめに立ち向かうために、「何ができるのか？」

事例2

Aさんは明るい性格の生徒で、同じクラスのBさん、Cさんの2人と仲が良く、休み時間は3人で過ごしています。一方、同じクラスのDさんは大人しい性格で、休み時間も1人で過ごしていました。Aさんは、そんなDさんを誘い、休み時間を一緒に過ごすようになりました。ある時、AさんがふざけてDさんにプロレス技をかけたところ、Dさんの反応が面白かったので、それを見ていたBさん、Cさんも翌日から、毎日のように教室前の廊下で、かわるがわるDさんにプロレス技をかけるようになりました。また、その様子を携帯電話で動画撮影し、3人で動画を見て笑っていました。

それを見たクラスメイトから担任の先生に「いじめではないか？」との相談があり、担任の先生がAさん、Bさん、Cさんに事情を聞きましたたが、全員が「遊んでいるだけ。」と話し、Dさんも「時々痛いし嫌なときはあるけど、いじめとは思っていない。」と話しました。

<これまでの背景>

Aさんは、Dさんが教室で一人で過ごしているのは寂しいし、つまらないだろうと思って自分のグループに誘いました。Dさんも誘われたことを嬉しく思い、一緒に行動するようになりました。

Dさんがプロレス技をかけられている教室前の廊下は、多くの生徒が通っており、現場を見えています。Dさんは技をかけられている時は苦しそうにしていますが、その後は笑顔です。

Aさん、Bさん、Cさん、Dさんにはいじめの認識はありません。

みんなで考えよう！

私たちは、いじめに立ち向かうために、「何ができるのか？」